

第 学年 国語科学習指導案 例

日時： 年 月 日 () 第 校時
 場所： 小学校 年 組
 児童： 名
 指導者： 立 小学校 ○○○○

1 単元名 (教材名)

*「○○をしよう」など、どのような資質・能力を育成するために、どのような言語活動を行うのかが児童に分かるように工夫して示す。

2 単元の目標

- (1) ～できる。 [知識及び技能]
- (2) ～できる。 [思考力、判断力、表現力等]
- (3) ～伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

*学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。

* [知識及び技能] と [思考力、判断力、表現力等] は、指導事項の語尾を「～できる」に変えて記述する。
 「学びに向かう力、人間性等」 は当該学年の目標の「～伝え合おうとする」までを記述する。

* [思考力、判断力、表現力等] はABCの領域の中から一つを焦点化し、その中の一つまたは二つの指導事項に絞って目標を設定する。

*末尾に (C「読むこと」(1)のイ) のようにどの指導事項に基づくものか書いておく。

3 本単元で取り上げる言語活動

*単元の目標を達成するために有効な言語活動を設定する。

例：夏休みの思い出について報告したり、それらを聞いて感想を記述したりする。

(関連：[思考力、判断力、表現力等]A(2)ア)

4 指導について

- (1) 児童について(児童観)

*本単元で指導する指導事項における児童の状況を書く。

- (2) 教材について(教材観)

*当該教材を用いる理由を書く。

※教材観または指導観には、設定した言語活動にどのような特徴があり、付けたい資質・能力の育成のために、どう効果的かを記入すること。

- (3) 指導について(指導観)

*学習形態やワークシート等、具体的な指導上の工夫について書く。

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
*末尾は「～している。」	<p>*末尾は「～している。」 *文の始めに、領域名を記す。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>例 「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ)</p> </div>	<p>*末尾は「～しようとしている。」</p> <p>①粘り強さ(積極的に、進んで、粘り強く等)</p> <p>②自らの学習の調整等(学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等)</p> <p>③他の2観点において重点とする内容(特に、粘り強さを発揮してほしい内容)</p> <p>③当該単元の具体的な言語活動(自らの学習の調整が必要となるような具体的な言語活動)</p> <p>以上①～④の内容を全て含め作文する。</p>

6 指導計画と評価計画(全 時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準、評価方法等
1	*児童の学習活動の流れを児童の立場で簡潔に書く。	*指導者の立場で書く。	*どの場面で、何を基に評価するのかを書く。
2 3 4	<p>例</p> <p>○「中」の部分については、第1時で選んだ最も報告したい思い出を詳しく想起して、必要な事柄を四つから六つ程度カードにそれぞれ書き出す。</p>	<p>例</p> <p>・選んだ思い出を詳しく想起できるように、日記や写真等を基に、経験や行動を振り返るよう助言する。</p>	<p>例</p> <p>[知・技①]カード</p> <p>・事物の内容を表す言葉、経験したことを表す言葉、色や形を表す言葉の文意に沿った活用状況の確認</p>
5 6 7			

7 本時の学習 時／全 時間

(1) 本時の目標

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等 ○Bと判断できる状況 ●Cと判断する状況の手立て
<p>*児童に示す本時の目標を記載</p>		
<p>*児童の立場で書く。</p>	<p>*指導者の立場で書く。</p>	<p>*例 [知・技]① カード ○文意に沿って不自然にならないように気を付けながら、見たことやしたことなど、それぞれに合わせて言葉を用いている。 ●教師が当該児童の夏休みの思い出に合わせて、具体的な表現の例をいくつか示す。</p> <hr/> <p>*例 [思・判・表]① <u>ワークシート①</u> ○時間的な順序や事柄の順序に基づいてカードを操作し、それを踏まえてワークシート①に感想を記述している。 ●カードに書いた事柄から、これを夏休みの思い出にした理由を想起させ、どのような順序だったら相手に伝えたい内容が伝わるのか一緒に検討する。</p>
<p>↓ 単位時間の中で、3観点全ての評価をするのではない。 評価をする場面は単元を通して精選し、 ↓ 単位時間に詰め込むことのないようにする。</p>		

(3) 教材、ワークシート、板書計画、座席表 等

※参考になる資料等

◎『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語(令和2年3月)』



国立教育政策研究所

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf

